



祭

みやままつりに関わって

美山ユニット特養ホーム
副主任 土肥 飛鳥

今年の美山まつりは、ご利用者様参加型のイベント構成を企画しました。

午前中はお神輿を担ぎながら各フロアを周り「わっしょい、わっしょい」と、職員の掛け声に合わせて、元気よく返して下さり、楽しそうな明るい声がフロア中に響き渡りました。

昼食には、お祭り屋台のお好み焼きなどをご提供。お祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。

休憩をはさみ、午後はカラオケからスタート。多くの人の前で歌声を披露する方に、周りからは手拍子する姿、声援を送る声が聞かれ大いに盛り上がりました。

また、職員手づくりのたこ焼き、チヨコバナナを手に多くの笑顔が見られ、盆踊りでは、「東京音頭」「炭坑節」「ドンパ節」の3曲が流れ、職員とご一緒に踊る方、その場にて身振り手振りでリズムを取られる方など一体となって楽しめているご様子がうかがえました。

さいごは職員による「マツケンサンバⅡ」を披露。ご利用者様はマツケンの团扇やマツケンサンバ棒を振つて応援し、盛り上げて下さいました。

6月10日は美山ホームの55回目の開園記念日でもあり、大勢で祝うことが出来ました。

今年は「いのち輝く未来社会」をテーマに万博2025（大阪・関西万博）が開催されております。美山ホームでも、一人ひとりが輝ける機会の提供を中心がけ、自分らしい暮らしのかたちづくりを職員一丸となり支援して参ります。